事例No.	2096
公表年度	R4
団体の属性	複数団体
団体名	北海道蘭越町・ニセコ町・倶知安町

事例区分	DX

タグ	・観光 ・AI ・ICT

事例種類	観光

事例内容・タイトル

多言語翻訳AIチャットボットを活用した外国人への情報発信強化

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

116 多言語翻訳AIチャットボットを活用した外国人への情報発信強化【北海道蘭越町・ニセコ町・倶知安町】

事業の概要

○ ニセコエリアでは、蘭越町・ニセコ町・倶知安町の3町の連携により、ニセコ観光圏を形成し、（一社）ニセコプロモーションボードと協働して、豊かな自然資源と国際交流の強みを生かした国際的なリゾートとしての地域の魅力を発信している。

○ 本エリアでは、外国人観光客の割合が多いため、観光案内も外国人に分かりやすいものである必要がある。そこで、（一社）ニセコプロモーションボードでは、外国人観光客をターゲットとしてAIチャットボットを運用している。

○ 地域で多言語対応のAIチャットボット機能を導入することにより、利用者は、各町の境界に囚われずにサービスを利用することができる。
　また、当該機能については、各団体のHP等でも活用されている。



【参考情報①】 人口：0.5万人（蘭越町）、0.5万人（ニセコ町）、1.5万人（倶知安町）、
関連URL：https://nisekotourism.com/ja/
（（一社）ニセコプロモーションボード）

【参考情報②】地域づくり総合交付金（北海道）とは
URL：https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/subsidy/top2.html
URL：
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/2/2/7/6/7/6/0/_/oshirase2.pdf

もっと知りたい！　担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。

観光案内において有用なAIチャットボットをニセコエリアに面的に実証導入することで、観光客のCS（顧客満足度）を向上させ、受入環境整備を図り、将来的なスマートリゾート化の一助としようと考えました。


（蘭越町・ニセコ町・倶知安町）


導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？

令和３年度に、北海道の地域づくり総合交付金を活用しました。




これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。

AIチャットボット導入により、一定程度、観光案内所不足や観光案内マンパワー不足解消に役立つと考えられます。また、将来的にAIチャットボットの認知度と精度向上が進めば観光案内に関するかなりの対応が可能になると考えられます。また、コロナ禍における非接触型ツールとしても有用です。



★担当：蘭越町商工労働観光課
：倶知安町観光商工課
：ニセコ町商工観光課　★

令和3年度事業費　1,700千円
（うち、地域づくり総合交付金（北海道）　800千円）